

『免疫染色究極マニュアル』（初版）

正誤表

（2020年8月現在）

このたびは上記書籍をご購入いただきまして誠に有難うございます。本書に以下の誤りがございましたので、深くお詫び申し上げますとともに、下記のように訂正させていただきます。

株式会社 金芳堂

●第1版第1刷

253 ページ 図2の説明

誤) b CK7：腫瘍細胞は陰性.

正) b CK7：腫瘍細胞は陽性.

●第1版第1刷～第2刷

62ページ 図2の説明

誤) CD3では多数の陽性細胞がみられるが、CD7では反応性T細胞と考えられる少数のものだけに陽性. CD3の発現喪失と考えられ、リンパ腫との診断に有用である.

正) 誤) CD3では多数の陽性細胞がみられるが、CD7では反応性T細胞と考えられる少数のものだけに陽性. CD7の発現喪失と考えられ、リンパ腫との診断に有用である.

197 ページ 図1の説明

誤)

c 固有筋層のHE 所見：好酸性を示す胞体を有する平滑筋細胞が密に存在するのを認める.

d 固有筋層における smoothelin 染色所見：平滑筋細胞は強陽性所見を示す.

e 粘膜筋板における desmin 染色所見：粘膜筋板の平滑筋細胞のみに強陽性所見を示す.

正)

c 粘膜筋板における desmin 染色所見：粘膜筋板の平滑筋細胞のみに強陽性所見を示す.

d 固有筋層のHE 所見：好酸性を示す胞体を有する平滑筋細胞が密に存在するのを認める.

e 固有筋層における smoothelin 染色所見：平滑筋細胞は強陽性所見を示す.

358 ページ 索引の項目

誤) factor VII 51, 124, 145

正) factor VIII 51, 124, 145

誤) factor VII-related antigen 310

正) factor VIII-related antigen 310

誤) factor VII a 259

正) factor VIII a 259